

自主防災組織・活性化特別推進事業実績報告書
(山梨市上栗原区・中村区自主防災会)

- 1 実施日時：平成29年1月22日（日） 13：30～16：30
- 2 実施場所：中村区公会堂（住所 山梨市中村60）
- 3 対象地区：山梨市上栗原区・中村区
- 4 参加人数：46人
- 5 支援チーム：（1）防災アドバイザー 県防災危機管理課 防災専門員 吹野健彦
（2）峡東地域県民センター職員
次長 小野真奈美、課長 伊藤洋一、
主査 窪川修、主任 鷹野友莉
（3）山梨市職員 総務課 主査 星野 正裕

6 実施状況

- （1）13：30～13：35 開会

○挨拶

・峡東地域県民センター次長

- （2）13：35～14：00 講義「災害への備え、あなたは大丈夫」

○防災アドバイザー：県防災危機管理課 防災専門員 吹野健彦

H29.1.9に発生した山梨市を震源地とした地震から山梨市においても熊本地震と同じ内陸型断層地震が起きる可能性があるため、過去の災害（昭和34年台風、阪神・淡路大震災など）を教訓に個人や自主防災組織が災害に備えておく必要があり、地域の防災対策は住民の主体的な取り組みが不可欠であることを説明した。

- （3）14：20～15：15 実習「自主防災マップを作成しよう」

○防災アドバイザー：県防災危機管理課 防災専門員 吹野健彦

班ごとに、ハザードマップや地域防災マニュアルを参考に、地域の防災資源や避難行動要支援者などを書き込み、自主防災マップを作成した。

- （4）15：30～16：25 実習「防災マップを使ってDIGを実施しよう」

○防災アドバイザー：県防災危機管理課 防災専門員 吹野健彦

地震と豪雨の複合災害が発生した時に地域に起こり得る被害を具体的にイメージし、そのような状況下で、自主防災組織が行うべき役割を班ごとに相談し、発表した。

まとめに、DIGの効果は、「災害を知る」、「まちを知る」、「人を知る」、「対応を考える」ことになり、地域防災力・自主防災組織の強化になると説明した。

- （5）16：25～16：30 閉会

○講評

・上栗原区長

・中村区長

7 研修の様子

